

ひとり親家庭 コロナ禍窮地

新型コロナウイルスの感染拡大で、県内のひとり親家庭が窮地に立たされている。今年に入り、母子家庭を支援する一般社団法人「シングルマザーの幸せな生活研究所」(福井市)が企画した食品や物資の無料配布には申し込みが殺到。支援継続のため、代表理事の柿木有紀さん(53)は企業や個人に協力を求めている。 〓新型コロナウイルス関連〇〇〇〇面 (成田真美)

無料配布申し込み続々

「保険営業の仕事が制限され、成績が下がり辞めざるを得なくなった。三カ月仕事がない」「四人の子どもの幼稚園や学校がひっきりなしに休みになる。預け先がなく仕事に行けない」。ひな祭りの三日、同法人が福井市内で無料配布したちしずしを受け

取ったシングルマザーたちは、苦しい現状を口々に語り、

「一二月、県内企業などの協力を得て、ひとり親家庭や困窮家庭を対象に弁当や米、生活必需品を事前予約制で計九

回配布。いずれも応募開始から一二月に四回

け困難していると聞いて、柿木さんは支援の必要性を訴える。



柿木さん(右)からちしずしなどを受け取るシングルマザー(左)も福井市内で



全国から届いた米や缶詰などの支援品

福井の団体 寄付求める

ほど、ハンパケや唐揚げ、豚カツなどを提供。納品を取りやめた商品などの廃棄を避けるために寄付先を探していたと語る、会員制交流サイト(SNS)で同法人の活動を知り、申し出た。小嶋康嗣専務(左)は「食品ロスを減らす、必要としているところに使ってもらいたい。今後もあるような形で支援したい」と話す。

これまでも全国から同法人に大量の米や缶詰、おむつ、子供服などが届いた。柿木さんは「本当にありがたい。配布するとすべくなくなってしまった。さらに寄付が集まれば、できることが増える」と支援の輪の広がりを期待する。

問い合わせは、フリーティウマン&スノーグループ〓電0776(58)7168へ。寄付金の口座振り込みは、福井銀行本店営業部普通口座6160500。